

即興による音楽とアートの融合

昇龍夜叉

2022年11月24日(木)
19:00開演(18:00開場)

愛知県芸術劇場 小ホール
(愛知芸術文化センター地下1階)

入場料(前売・当日共)
6,000円

舞台監督・音響
橋本勇太

グラフィックデザイン
中村直永

サポート
林真、福本百恵

撮影協力
名古屋芸術大学 先端メディアコース

チケット取扱
愛知芸術文化センター プレイガイド(地下2階)
TEL | 052-972-0430
10:00-19:00(土日祝は1:00-18:00)
月曜定休(祝日の場合は翌平日)

チケットぴあ
Pコード: 648762



会場
愛知県芸術劇場 小ホール
(愛知芸術文化センター地下1階)
名古屋市中区東横1-13-2

東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分
瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩2分
オアシス21から地下連絡通路
または2F連絡橋経由

主催
アルパティカアートロジープロジェクト実行委員会
080-7468-4210(担当:尾上)
contact@sakua-allpatika.com

協賛 株式会社SAKUA



暗いのに眩しい。反響しているのに静か。一瞬なのに永遠。音楽と美術。
ホッピー神山のインプロビゼーションと長谷川喜久のライブペインティングによる、
境界を超え溶け合うクロスバウンダリーパフォーマンス。

鍵盤・電鳴
ホッピー神山

Piano / Electro
Hoppy Kamiyama

1978年プロデビュー。1983年、「PINK」に参加、80年代を代表するプロデューサー、キーボーディストとしての評判を確立。1990年、東芝EMIよりソロ・アルバム「音楽王・1」、翌年に「音楽王・2」を発表。1992年、自ら「GOD MOUNTAIN」レーベルを立ち上げる。宮本亜門のミュージカル「サイケデリック歌舞伎・月食」の音楽を担当。1994年、フランスのSONOREより室内楽中心のアルバム『Juice&Tremolo』を発表。2005年、ソロCD+DVD『意味のないものは、意味がある』を発表。2007年、アルバム『もしもし、ピアノが弾けますよ』リリース。2009年、ピアノソロ・アルバム『私がピアノ』リリース。
プロデューサー・アレンジャーとしては、アンジェラ・アキ、小泉今日子、氷室京介、センチメンタル・バス、Chara、Judy&Maryなど2000曲を超える仕事を、テレビCMでも2004年のトヨタ・カラーフィールダーなど多数のヒットCM音楽を手掛ける。レーベルを主宰し、世界中のネットワークを築き上げ、多数のバンドにボーダレスなパフォーマーとして参加している。



現代日本画
長谷川喜久

Painting
Hasegawa Yoshihisa

1988年金沢市立美術工芸大学大学院修了。1992年、川端龍子賞展 大賞。1993年、上野の森美術館大賞展、フジテレビ賞。1997年、日春展日春賞(同 '98、'91 奨励賞)、日展特選(同 '01、'05 会員賞/'18 東京都知事賞)。2004年、万葉日本画大賞展 準大賞。2007年、響の会展(高島屋巡回同 '09、'11、'13、'16)。2008年、遠き道展(全国美術館など巡回)。
2010年、個展(高島屋名古屋・大阪・東京・京都/'14、'19名古屋・大阪)。2011年、上海美術館主催 長谷川喜久展(上海美術館)。2012年、個展(松坂屋 本店 同 '16、'20)。2014年、現代日本画の世界サテライト長谷川喜久展(岐阜県美術館)。2015年、個展(日本橋三越 同 '18、'21)。2016年、五都美術商連合会主催 創と造2016〜、建仁寺塔頭両足院 屏風奉納。2018年、「美術の窓」挿絵原画展(ギャラリー和田)。2019年、瑞龍寺 塔頭 天澤院 双龍図襖制作、一目で見る名曲集一 GORO NOGUCHI GOLDEN HIT PARADE企画プロデュース。2020年、帆の会('21)。2021年、美濃市立空想動物園 企画プロデュース(美濃和紙の里会館)、長谷川喜久日本画展 感情と記憶のカタチ1991-2021(佐藤美術館)。
現在、日展特別会員、新日春会会員、名古屋芸術大学教授。

